

令和5年3月 自己評価結果（ドットジュニア 蘇我 第1教室（放課後等デイサービス））

厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」に基づいて定期的に自己評価を実施しています。

この自己評価結果、また保護者様からいただいたご意見・ご要望をもとに、業務・サービスの改善をしていくことを目的としています。

	評価項目	利用保護者様からのご意見、ご感想 <アンケート調査：R5/11/16～R5/11/26>	事業所の取り組み状況改善の方針等 <職員アンケート及び検討：R5/12/1～R6/1/31>
環境・体制整備	訓練室等の適切なスペースの確保	・インフルエンザ等の感染症感染が不安になることがあります。	・安全面について、職員間での情報共有や死角をなくして全員の ことを見守れるような体制を実践していきます。 ・子どもたちひとり人が安心して過ごすことができるように、 毎日設備の点検・消毒を実施しています。
	職員の配置状況		
	事業所内の安全対策		
	環境設備の衛生管理		
業務改善	業務改善を進めるための PDCA サイクル	・ HUGでの記録が見やすく、助かっています。楽し そうな様子が伝わってきます。	・ 今後もご様子がしっかりと分かるような記録を記入させていた だきます。
	職員の資質の向上、研修の機会の確保		
	運営支援システムHUGの運用		
適切な支援の提供	適切なアセスメントの実施	・ プログラムも大事だが個々の障害に特化した対応 ができるよと感じる ・ LD（学習障害）の支援も強化してほしい	・ 引き続き、個別支援計画や児童の状況等を考慮して、当事業所 のコンセプトに沿って多様なプログラム計画を立てています。
	ニーズや課題の客観的な分析、個別支援 計画の作成		
	適切な活動プログラムの立案		
	支援開始前の支援内容や役割分担の確認		
	支援終了後の振り返り		
	適切なモニタリングの実施		
	各種記録の正しい作成、保管		

関係機関や保護者との連携	サービス担当者会議の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が交代した時の引継ぎが不十分と感ずることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の他、モニタリングや日々のご連絡の中で、保護者の皆様とやり取りができる機会を確保していきたいと思っております。</li> <li>・相談支援をはじめ、学校や幼稚園、保育園など関係機関との必要な情報共有に努めてまいります。</li> </ul>
	学校との情報共有、連絡調整		
	子どもの発達状況や課題の共通理解		
	相談に対する必要な助言と支援		
	学校卒業時に他の障害福祉サービス移行等のサポート		
	事業所外の専門機関等との連携		
	ペアレント・トレーニング等の支援		
保護者への説明責任等	契約時の丁寧な説明（支援の内容、利用者負担額等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士が揉めた際の、その後の対応に不安がある。</li> <li>・特定の先生については、専門的なフィードバックをしていただいたり、自宅でのようにしたらいいかフィードバックしていただけるのでありがたいです。</li> <li>・連絡の返事が早く助かっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の発達段階に応じて、適切な人間関係の構築を目指すことができるように適宜支援を進めさせていただきます。進め方は引継ぎや日々の連絡の中で、ご相談ご共有できるようにしてまいります。</li> <li>・相談支援をはじめ、学校や幼稚園、保育園など関係機関との必要な情報共有に努めてまいります。</li> </ul>
	苦情対応の体制整備、発生した場合の迅速かつ適切な対応		
	会報の発行等の事業所の情報発信		
	個人情報の適切な取り扱い		
	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮		
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全面の確保と事業所内での迅速な情報共有をお願いしたいです。今後もメリハリのある楽しいプログラムを続けていってほしいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを策定し、研修や訓練を実施しています。</li> <li>・全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質の摂取や接触がないよう留意しております。</li> <li>・ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。</li> </ul>
	緊急時対応の保護者への周知		
	定期的な避難訓練等の実施		
	虐待防止、身体拘束についての職員研修の実施		
	ヒヤリハット事例の事業所内共有		
満足度	子どもが通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出が増えたこともあり、子どもも楽しく通っています。</li> <li>・英語を好きになり、楽しんでいること</li> <li>・スケジューリング 苦手なことも前向きに取り組めるトレーニング</li> <li>・自分の言いたいことを言葉にして相手に伝えることができるようになった。今何がしたいか、何ができなくて困っているのか、など通所で少しずつ言えるようになり、日常生活でも言えるようになりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様がそれぞれの自立にむけて何が必要かを常に考え、ご本人たちが目標に向かって日々を楽しく過ごせるように今後もスタッフ一同努力してまいります。</li> <li>・支援方法や教室運営等について、ご相談がございましたらいつでもご連絡ください。</li> </ul>
	現状抱える不安や悩み		
	通所を開始して良かったこと		
	今後期待したいこと		